やさしい解説
AIT通信
Accounting Information Technology

2007年（平成19年）10月創刊
第29号 平成22年2月号

バレンタイン
甘くにがい
ショコラの思い出

発行
有限会社エーアイティ研究所
〒969-1169
福島県本宮市本宮字小原田200番地2
TEL 0243-33-5538　FAX 0243-33-4467
URL http://www.motomiya-mcs.jp/ait/
E-Mail info@motomiya-mcs.jp

セキュリティ　ガンブラー、猛威をふるう！

昨年暮れ、企業のホームページが相次いで不正に改ざんされるという事件が起りました。ＪＲ東日本、ホンダ、ローソン、ハウス食品などの大企業も被害に遭いました。改ざんされたホームページにはウイルスが仕組まれ、そのページを閲覧することで閲覧者のパソコンもウイルスに感染する可能性がありました。なぜこのような事態になってしまったのでしょう。

ガンブラーとは

ガンブラー（Gumblar）とは「ホームページを介してコンピュータにマルウェア（ウイルス）をダウンロードさせる攻撃手法、またはこの攻撃に関連するマルウェア」のことを言います。

ホームページサーバを直接攻撃するのではなく、ホームページ管理者などのパソコンから管理用 ID・パスワードを盗み出し、それらを悪用して不正なマルウェアをホームページに仕組んで改ざんし、別の閲覧者がその改ざんされたホームページを閲覧してパソコンがマルウェアに感染して情報が盗まれる、という悪循環が引き起こされます。仕組まれるマルウェアも多種に及び、また変化のサイクルも短いことから、ウイルス対策ソフトを使用していても感染してしまうという事態が発生してしまいました。

ガンブラー対策は？

ガンブラー攻撃の予防対策として IPA 情報処理推進機構が次のようなことを公表しています。

① OS のアップデートによる脆弱性の解消
② Adobe Reader（PDF 閲覧ソフト）及び Acrobat、Flash Player の更新

その他にも Java Runtime の更新、Quick Time の更新を推奨しているところもあります。

もちろん、通常ご使用されているウイルス対策ソフトの更新や、ファイアウォールの活用もお忘れなく。

そして、万が一、感染してしまった場合は、すみやかな対策が必要です。被害者だったはずが、一転、加害者になってしまうのがウイルス感染の怖いところです。

メンテナンス　Windows XP の行方

2001 年秋に発売され、長期間ユーザーに愛された Windows XP。ビジネス向けの NT 系カーネルをベースに、一般家庭向けに使い易さを取り入れた設計思想が受け入れられた結果なのでしょう。後継の Vista はいくつもの新機能を搭載しながらもユーザーに不評を買い、逆に XP への信頼が増すという結果になりました。しかし、その XP も、Windows 7 の登場でいよいよその役目を終える時が来たのでしょうか。

ＸＰはまだ買える？

XP はパッケージ版の出荷はすでに終了しており、流通在庫のみとなっています。しかし販売しているお店を見かけることはほとんどありません。

パソコンメーカーでは、Windows 7 や Vista からのダウングレード権を利用して一部の業務向けパソコンに XP をプリインストールして販売しており、初期状態で XP がインストールされたパソコンを購入することがまだ可能です。しかし、XP はすでに延長サポートフェーズに移行しており、セキュリティ問題対応のためのアップデートだけが行われているという状況です。（延長サポートも 2014 年 4 月で終了。）

ＸＰ　ＳＰ２は対象外！？

ソフトウェアメーカーの対応にも変化がみられます。 Windows には、機能改良や不具合修正を目的に適用された Service Pack（=SP、サービスパック）と呼ばれるバージョン違いが存在します。XP の最新版は XP SP3 です。

最近発売されたソフトウェアの中には、動作保証の対象が「XP SP3 以降」と謳われている製品が増えてきました。まだ SP1 や SP2 のまま XP をご使用の方も多いかと思いますが、SP2 以前のままではソフトウェアのインストールすらできない場合もあります。今後も XP を使い続けるためには SP3 へのバージョンアップは必須となります。

SP のバージョンアップに伴い、メモリの増設などを行わないとパソコンの動作が著しく悪くなる場合も多くあり、大変手間がかかります。

どうしたらいいかお悩みの方は、ぜひ一度、エーアイティ研究所までご相談ください！

編集後記　Windows 7 発売から３ヶ月が過ぎ、その販売状況を分析してみると Windows 7 搭載パソコンの新規販売はあまり伸びておらず、Vista からのアップグレード需要に支えられているらしいということが分かってきました。Windows 7 は相変わらず評判は良いのですが、パソコンの買い換え需要の掘り起しには至っていないようです。メーカーは Windows 7 の特長を活かした製品開発に力をいれています。新年度を迎えるにあたり、ご購入を検討してみてはいかがでしょう。（本田）